

立命館大学「間文化現象学研究センター」主催《国際若手発表会》

2016年7月3日（日）10：30～17：00

第一部 10：30～12：00

YANAGAWA Kohei/柳川 耕平（立命館大学）

「Interculture in Husserl's theory of time」（フッサール時間論における間文化）

ARIMURA Naoki/有村 直輝（立命館大学）

「The Fragility of Beauty in Whitehead and Becker」

（ホワイトヘッドとベッカーにおける美のこわれやすさ）（仮題）

質疑応答 30分

（お昼ご飯 12：00～13：00）

第二部 13：00～14：30

SAKAI Maiko/酒井 麻依子（立命館大学）

「Violent Coexistence in Merleau-Ponty」（メルロ＝ポンティにおける暴力的共存）

Elise COQUEREAU/エリーズ・コクロー（ウィーン大学）

「Intercultural Dialogue and Creativity」（間文化的な対話と創造性）

質疑応答 30分

（休憩 15分）

第三部 14：45～17：00

OTAGIRI Kentaro/小田切 建太郎（立命館大学・日本学術振興会）

「Was heißt heute das Wohnen im „Haus“?」（今日、「家」に住まうとはどういうことか？）

SUZUKI Takashi/鈴木 崇志（立命館大学・日本学術振興会）

「Strukturen des Zusammenkommens bei Husserl」

（フッサールにおける「出会い」の諸構造）（仮題）

Michael STADLER/ミヒャエル・シュタードラー（ウィーン大学）

「Sein und Nichts. Heinrich Rombach im konkreativen Gespräch mit Japan」

（存在と無。日本との共創造的対話におけるハインリヒ・ロンバッハ）

質疑応答 45分

場所：立命館大学 衣笠キャンパス 敬学館259教室

※発表は英語とドイツ語で行われます（翻訳はありません）

問合せ先：立命館大学 人文科学研究所

TEL:075-465-8225 FAX:075-465-8245 E-Mail jibun@st.ritsume.ac.jp